

令和3年度 自己評価

佐川町立黒岩小学校

A:十分満足 B:おおむね満足 C:もう少し努力すべき D:大いに努力が必要

評価項目	佐川町の施策	本校の取組	成果(○)と課題(●)	自己評価
豊かな心と健やかな体の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳・いのちの教育の推進 道徳教育の推進, いのちの教育の推進 地域に根ざしたボランティア教育の推進 ○いじめと不登校への対応 相談活動の充実, 関係機関との連携強化 いじめ防止対策の充実, 不登校児童への支援 ○健やかな体の育成 健康教育の充実, 食育の推進, 学校体育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業の充実 考え議論する道徳の授業を目指す ・スクールカウンセラーとの連携 SCを交えた支援委員会, Q-U分析 ・仲間づくりへの指導 朝会での仲間づくり活動, 異学年交流 ・学校体育の充実 クロスケ(毎木曜), 体育行事に向けた取組 ・基本的生活習慣の啓発 ハローウォーク, 生活リズムチェック 	<p>○「自分には良いところがある」について、否定的な回答が6月に比べて減っている。学校生活の中で役割を与えられることで、自分の良さを感じられるようになってきた児童もいる。</p> <p>○ほとんどの児童が外で元気に遊んでいると答えている。(98%)</p> <p>●「気軽に先生に相談できる」と答える児童が81%に留まっている。</p> <p>●児童は「早寝早起きができている」と答えるものの(86%)、教職員(66%)・保護者(68%)とも課題意識を感じている。</p>	B
学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○確かな学力の定着と自立する力の育成 指導内容・方法の工夫改善, 学習習慣の定着化 学力検査の分析・活用, 読書活動の推進 進路活動・キャリア教育の推進 ○学校力・教職員力の向上 専門的支援体制の充実, チーム学校の構築 教職員の研修・研究活動の充実 特色ある学校づくり, 学校評価, 校務スリム化 ○保小中高連携による系統性のある教育推進 幼児教育と学校教育の連携と推進 小中連携と一貫教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業研の実施 事前研に力点, 講師招聘による研修 ・全校体制での加力学習(火・木曜日放課後) 基礎基本の確実な定着を目指す ・タブレット活用学習の推進 ドリル学習で学習意欲向上を図る ・高知新聞への投稿 帯タイムに書いた短作文を投稿する ・読書活動の推進 読み聞かせの実施, 必読図書の設定 	<p>○授業改善研究を計画的に進めることができた。毎回講師招聘を行い、事前研究会も行うことができた。</p> <p>○全校体制での加力学習やタブレット活用により、基礎基本の定着を図ることができた。</p> <p>●「学校が楽しい」「勉強がわかる」と答える児童が6月に比べて減っていることが気になる。</p> <p>●「家で宿題や勉強をしている」について、否定的な回答が6月に比べて増えている。家庭学習に対する指導への見直しが必要ではないか。(0%→12%)</p>	B
ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○佐川らしい教育の推進 郷土の偉大な先人や地域人材に学ぶ教育 地域資源を活用したふるさと教育の推進 自然を活用した体験学習・環境教育の推進 ○文化芸術活動・伝統文化の継承 学校における文化・芸術活動の推進 伝統文化を学ぶ機会の充実 地域資産を活用した学習機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に学ぶ学習 地域探検, 茶摘み・茶煎り, 防災学習 ・地域の特産物の栽培 キュウリ(低), イチゴ(中), 米(高) ・河川学習 柳瀬川の自然環境を守り、未来へ受け継ぐ ・伝統芸能の学習 四ツ白太刀踊り, 瑞応盆踊り ・地域学校協働本部事業の活用 地域の協力で教育活動を充実させる 	<p>○河川学習や栽培学習など、地域を題材とした学習に積極的に取り組むことができた。</p> <p>○地域学校協働本部事業による学校支援ボランティアの活用場面が昨年度より増えた。</p> <p>○ほとんどの児童が「佐川町のことが好き」と答えている。(93%)</p> <p>●「児童が社会や地域の出来事に関心を持っている」と答える割合は、保護者(68%)地域住民(75%)ともあまり肯定的に捉えていない。</p>	A